



諏訪湖通信97号

令和8年7月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



カヤックで諏訪湖を守る！ 子どもたちが未来へつなぐ環境アクション

6月28日、「諏訪湖×ハケ岳 未来アクション～諏訪湖ゴミZEROキッズ 水環境クリーンアップ作戦！～」を開催しました。本事業は、スワコエイトピークスミドルトライアスロン大会との連携企画として実施し、小学生23名がカヤックに乗って諏訪湖の浮遊ごみ回収に挑戦しました。湖上から諏訪湖を見つめた子どもたちは、「思っていたよりごみが多かった」「魚がたくさん死んでいて驚いた」など、多くの気づきを得ることができました。陸上では回収したごみを題材にしたワークショップを実施し、ごみが湖へ流れ着く仕組みや、私たちにできる環境保全について意見を出し合い学びを深めました。

参加者アンケートでは、多くの子どもたちが「また参加したい」「もっと諏訪湖について知りたい」と回答し、環境への関心の高まりがうかがえました。こうした「気づき」を次の行動へつなげるため、8月1日(土)には諏訪湖環境研究センターで振り返りワークショップを開催します。諏訪湖で見つけたごみの行方や湖の生きもの、水環境について学びながら、「未来の諏訪湖を守るために自分たちにできること」を子どもたち自身が考えます。

未来の諏訪湖を守る仲間として、ぜひ一緒に学び、行動してみませんか。詳しくは諏訪湖×ハケ岳 未来アクションのホームページをご覧ください。 <https://s8fa.jp/>



湖上から環境を学ぶ様子



気づきを共有し、学びを深めました



未来の諏訪湖を守る仲間たち



詳細はこちら

諏訪湖環境研究センターでは、今年も「諏訪湖フィールド学習会」を開催します。夏休みの自由研究にも役立つ内容ですので、ぜひご参加ください。

【開催日時】 令和8年8月1日(土) 9時～12時

【対象】 小学校4年～6年生

事前予約制、先着10組 7月24日(金)締切

詳細は↑



諏訪市の湖畔エリアで初となる バス専用駐車場ができました

7月8日に諏訪市の湖畔エリアで初となるバス専用駐車場が湖岸通りにオープンしました。これまでバスは乗客を降ろした後、別の場所で待機しなければならないこともありました。専用駐車場の整備により利用しやすくなります。

団体旅行や修学旅行の受け入れ環境が整うことで、諏訪湖周辺を訪れる観光客の増加にも期待が高まります。湖畔の新たな「おもてなし」として、今後の活用が楽しみです。

水辺整備⑧ Eゾーン(岡谷市) 水辺の生物と人の交流する湖畔

諏訪湖の原風景である砂州や水生植物帯の豊かな環境を復元し、これらと人が触れ合えるような公園づくりをするゾーンを目指します。

【整備(利活用)の方針】

- ・「泳ぎたくなる諏訪湖」を実現するための砂浜の創出(覆砂、浅場造成)
- ・堤内地に眺望を活かし、サイクリング利用者の利便性も考慮した公園整備
- ・生物とのふれあい機会を創出したサイクリングロードの整備

【水辺整備の課題】

ハクチョウの飛来地である横河川河口を含め、抽水植物帯や鳥に配慮した護岸整備を実施

○自然豊かな横河川

鉢伏山を水源とし諏訪湖へと流れる横河川。河口から出早公園までの約4kmにわたり、ソメイヨシノを中心に約400本の桜が連なっています。



位置図



横河川河口からハケ岳を遠望



横河川河口は白鳥の飛来地

なつかしいオオワシの写真展示と 忘れないで！オオワシに関するパネル展示

岡谷市の写真家加藤静(ちかよし)さん(故人)は、オオワシが諏訪湖に飛来した1996年～2018年までの20数年間にわたりその生態を追いつけ、多くの貴重な写真を記録として残されました。

その写真は60枚ほどになり、全て臨場感にあふれています。ご遺族が「有効に活用してほしい」との願いを込めて諏訪湖クラブ会員の林正敏さんに託されましたので、-写真集- 諏訪湖のオオワシ「グル」を作成しました。

令和8年5月28日に開催された第14回諏訪湖創生ビジョンの総会にてその写真や紙芝居の作成・公演にまつわる「グル」に関するパネル5枚の展示を行いました。



写真30枚展示



パネル展示5枚

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901